



かんせいちゅうがっこう

寛政中学校だより

だいごう
第4号

ねん がつ にち
令和元年 7月17日
よこはましりつかんせいちゅうがっこう
横浜市立寛政中学校

うしおだとうぶしゃかい あか うんどう 「潮田東部社会を明るくする運動」

かんせいちゅうがっこう れきし かた ～寛政中学校の歴史を語りました～

こうちよう もり かつよし
校長 森 勝義

7月9日(火)19時、潮田神社社務所にて「潮田東部社会を明るくする運動」が開催されました。その席で私は「生徒一人ひとりが地域の一員として地域を支える学校をめざして」というタイトルでお話をさせていただきました。3つのことに絞って話をしました。一つ目は寛政中学校の歴史を紐解きながら、開校当時、14あった町内会とのつながりを探り、各町内会が、学区小学校の児童、中学生に対して様々なイベントをおこない、児童生徒の健全育成に務めていただいたこと。二つ目は昭和55年ごろから荒れていた、寛政中学校がどのようにして、立て直しをして、地域に認められるようになっていったか。三つ目は寛中みこしの誕生です。

今回は二つ目のことを中心に話をします。昭和50年代後半、小規模校になった寛政中学校は生徒たちが荒れていて、いわゆるツッパリグループが我が物顔で校内を闊歩していたそうです。昭和60年3月にはNHKで「荒れる学校」というタイトルでニュースになったと聞いています。保護者・地域・教職員がそれぞれなんとか学校を立て直さなければという気運が高まっていきました。昭和60年4月、1学年の教職員を中心に3年計画でなんとか学校を立て直そうと立ち上がっていきました。そこで教職員が学校内で取り組んだことは教職員が一丸となって上級生から1年生を守るために、その1:1学年にずっと張り付いて上級生の圧力から守ること。その2:教室・廊下・トイレの清掃をすること。その3:学級通信を多く出すこと。その4:服装や頭髪などは二の次とすること。その5:早朝や部活動後の補習で学力の遅れを取り戻すこと。そして1年生全員で生徒たちが忠実に守り抜いた4項目もありました。

- ・自分たちが受けた嫌なことは下級生にはしない。
- ・いじめはしない。
- ・お互い協力して思い切り青春できる学校を創る。
- ・行事はみんなで盛り上げる。

上記4項目を忠実に守り抜いた生徒たちに、人格を形成するうえで大きな貢献ができるはずとの考えが芽生えていきました。教職員としても、わかりやすい授業、心が通う指導を目指して、お互い協力すればどんなにひどく荒れた学校でも意外と短期間のうちに向上できることが経験としてつかめたようです。

3年後の昭和63年3月の卒業アルバムにツッパリスタイルの生徒がエラそうに写っているということで読売新聞や朝日新聞などにセンセーショナルに取り上げられましたが、学校現場はそれほど動揺がなかったそうです。そのスタイルの生徒たちこそが上級生から受けた様々な被害を下級生に一切与えず、学校を変えていった中心の生徒たちだったのです。教職員間でもあれだけ上級生からいやな思いをさせられているのに頑張って登校してきている生徒に冷たくできるはずありませんでした。先輩方や教職員の努力があったからこそ、現在の落ち着いた寛政中学校があることがわかりました。当時3年間で寛政中学校を変えていった生徒の一人に現PTA会長もいました。そして昭和62年、「寛中神輿」も誕生させたのでした。素晴らしい功績です。伝統を引き継ぎ、地域の方々や保護者の皆様に愛される学校をめざしていきます。

かんせいちゅうが っくこんわかい おこな 寛政中学区懇話会が行われました

5月23日に寛政中学校で、寛政中学校区懇話会が行われました。今年度の取組の確認や今抱えている問題についての話し合いがされました。グループ懇談では「スマートフォン利用のあり方～行事でのスマートフォン利用の賛否」というテーマで話し合いました。司会者が「学校行事に出かけるとき、スマホを持たせるのに賛成ですか、それとも反対ですか」と問いかけると、グループの中で賛成派と反対派に分かれました。そして双方が付箋紙に意見を書いて模造紙に貼り、活発な議論が行われました。賛成派からは「見知らぬ土地でもつながれる。それに情報を得て活用する力が育つ。」という声があり、反対派からは「自分たちで知恵を出し合い、なんとかすることが大事だ。」などの意見が出ました。学校、家庭、地域それぞれの立場からのご意見をこれからの寛政中学校区の発展に役立てていきたいと思えます。

せいとそうかい 生徒総会 ～よりよい寛政中のために～

6月6日に生徒総会が行われました。厳粛な雰囲気での生徒総会でしたが、各委員会の委員長の提案する姿勢や、それに対して質問をする質問者の姿勢、聞いている生徒の姿勢、みんな素晴らしかったです。また議長団も総会をしっかり掌握し、スムーズに司会を務めることができました。

全生徒が寛政中学校の生徒会の一員として、しっかりと参加ができた生徒総会でした。



↑ 立派に総会を進行させた生徒会と各種委員会

よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト

「多様性を認め自分らしく生きられる社会へ」

去る7月2日に、よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト鶴見区予選会が行われました。本校からは学校の代表として、3年の生徒が参加しました。

「多様性を認め自分らしく生きられる社会へ」と題して、日本ではセクシュアリティに対する理解がまだまだ遅れている現状を取り上げました。多数派の人たちを「正しい」「ふつう」ととらえ、少数派だと「間違っている」「変だ」ととらえてしまう、根深く凝り固まった概念について指摘し、多様な性の在り方について知らないことが、無理解につながり、無意識の偏見や差別を生み出していると訴えました。

『大事なものは、自分が自分らしく、生きたい姿で生きることではないでしょうか。』生徒の熱のこもったスピーチに、聞いている人たちの多くが、何度もうなずいていました。立派にかつ堂々と主張し、優秀賞を受賞することができました。寛政祭でも発表する予定です。

でんとう ひ つ 伝統は引き継がれる

たいいくさい おんせいふ かせ ~体育祭1・2年生振り返りより~

僕は初めての体育祭で分からないことや間違えてしまったこともありました。けれど、分からないことがあったら青組のみんなが優しく教えてくれたり、間違えてしまったら注意してくれたり。青組はみんな優しく思いやりの心がある組でした。小学校の運動会と比べて体育祭は自分たちで準備するので、自分たちで作る体育祭だと思いました。今年の体育祭は最初で最高の体育祭になりました！ 1年

初めての体育祭は優勝できなかったけど、私にとって良い思い出になりました。いつも、色リーダーさんとサブリーダーさんがみんなのことをまとめてくれたり、アドバイスをくれたりして、本番でもみんなで協力して取り組むことができました。私が3年生になったら、今の先輩みたいに尊敬されるような先輩になりたいです。青組でよかったです☆

1年

体育祭では、特に放送委員での仕事を率先して行いました。本番の放送では去年の経験を生かし、大きな声ではっきりと喋ることができました。本番だけではなく、前日の機材の運搬や打ち合わせにも参加しました。応援でもリレーや大縄などで全力で応援することができました。来年も放送委員として後輩の見本になれる先輩になりたいです。

2年

去年は初めての体育祭で、声も全然出せなかったけど2年生になって、1年生に教える立場になり昨年よりも声を出したり、色のためになることを頑張ろうと思いました。2年生になって、自分達のことだけでなく、3年生のリーダーやサブリーダーの先輩方を見てとてもカッコイイと思い、来年は色リーダーをやってみようかなと思いました。

2年



いき あ こうしん かいかいしきにゆうじょう
↑息を合わせ行進した、開会式入場



ぜんいん ちから あ と ながなわと
↑全員で力を合わせて跳んだ長縄跳び



ぶかつどうそうこうかいおこな 部活動壮行会行われる

はっき かんせいだましい ~発揮しよう寛政魂を!~

運動部は最後の大会を迎えようとしています。文化部ではこれからの行事や発表会に向けて、練習や準備にいつそう熱が入ってきています。部活動の3年生にとっては中学校生活最後の夏となりました。6月26日に、1・2年生と教職員で3年生を激励するため、部活動壮行会を行いました。

はじめに各部活動より3年生の大会に臨む意気込みや、夏休みの活動について発表がありました。そして1・2年生からは心を込めて折った千羽鶴をおくり、1・2年生と教職員から熱のこもったエールを3年生におくりました。その後、

校長先生から、3年生へのエールとして「返事とあいさつ」「信は力なり」「寛政中前へ」ということばが送られました。練習を積み重ねてきた自分を信じ、堂々と胸を張って活躍してほしいと思います。



↑1・2年生が折った千羽鶴の贈呈

ちくこんだんかい 地区懇談会

寛政中学区を地区別に7会場に分け、自治会館や町内会館を会場にした地区懇談会が、6月25日(火)、6月26日(水)、6月27日(木)に開催されました。当日は、小中学校の職員、PTA委員、保護者、町内会長や地域役員をはじめとする地域の皆様とともに有意義な時間を持つことができました。

懇談会の内容として、小中学校の状況の報告、地域からの連絡、「基礎学力をつけるため」「しつけと体罰について」「子どもたちの安全」をテーマとして、それぞれの立場からどんなことができるのかを中心に意見交換を行いました。また、夏休みの生活についてや、区役所のパンフレットを参考に児童虐待について、子どもたちの命を守るために地域や学校、家庭でできることを中学校生徒指導専任より説明させていただきました。

今後も、学校、家庭、地域には、子どもたちのために真剣に考える大人がたくさんいるということを生徒たちにも発信し、家庭・学校・地域全体で子どもたちを見守っていければと考えております。



↑地区懇談会の様子

バドミントン部 ダブルス(個人戦)で入賞

『鶴見区夏季バドミントン大会』

優勝した2名は市大会に出場します！

優勝……3年、3年

2位……3年、3年

3位……3年、3年

8・9月のおもな行事予定

8/27(火) 授業開始・防災避難訓練

8/28～8/30 交通安全指導

8/28～9/2 教育相談

9/6～7 個別支援級合同宿泊学習

9/6～10 前期期末テスト

9/25～26 かなテク体験

～お知らせ～

学校ホームページ内の寛中ニュースで、学校の行事などを随時更新しています。ぜひ、ご覧になってください。また、学校だよりのバックナンバーもアップしてあります。写真がカラーで見られます。